



実施過程	実施内容・要点	時間 90分	プレゼン 進行者の主な指示例・発問例	*留意点 【 】内は使用する資料名
はじめに	<p>◎本校内研修の概略説明 ○ウォーミングアップ</p> <p>1 ねらいの確認 (1) いろいろな視点から情報を収集する大切さを理解する。 (2) 事例研究を通して、生徒をチームで支援するための具体策を考える力を養う。</p>	5	<p>1 [説明] 今日は「チームでの支援を目指した事例研究」について研修します。 (指示) 研修の前にウォーミングアップをしましょう。「○○名人」です。あなたはどの名人ですか。名人と言っても、特別なことができなければならないということはありません。他の人と比べてではなく、自分のできること、ちょっとでも得意なことでもいいのです。それでは、いくつか考えてみてください。(数秒後)では、やり方を説明します。自由に歩き回って、ペアになる相手を見つけます。片方の人が「あなたはどの名人ですか」と尋ねます。聞かれた人は「私は○○名人です」と答えます。それを聞いた人は「それはすごい」「いいね」「すてきな才能だね」など一言でいいので褒め言葉を返してください。お互いに褒め合ったら、相手を替えて続けてください。相手によって答える内容を変えても構いません。時間は3分です。では、始めましょう。(3分後)いかがでしたか。(どんな名人だったか先生方に聞いてみる)～先生は○○名人、～先生は○○名人と、この学校にはいろいろな名人がいますね。そして、ちょっとしたことでそれを褒めてもらうと嬉しいですね。</p> <p>2 [説明] それでは研修に入っていきます。今日のねらいを確認します。今日のねらいは「いろいろな視点から情報を収集する大切さを理解する」「事例研究を通して、生徒をチームで支援するための具体策を考える力を養う」の2つです。</p>	<p>*席は事前に決めておいたグループ毎にしておくことよ。 *ミニエクササイズを通して和やかな雰囲気をつくる。</p> <p>【テキスト資料】 *学校の実態と関連づけて、本校内研修のねらいを説明する(具体的事例を入れながら説明できると研修者の必要感が高まる)。</p>
I 説明	<p>2 事例研究の意義 (1) 生徒のために (2) 教職員自身のために</p> <p>3 事例研究の進め方 (1) 準備物 記録用紙、付箋紙、マーカー、タイマー (2) 流れ 事例提示→情報提供→個人研究→グループ研究→全体報告→役割分担 (3) 留意点 ①事例提供者を支える姿勢を持つ ②実施可能な具体策を考える ③秘密を保持する</p>	3 7	<p>3 [説明] 先ほどのウォーミングアップで先生方がいろいろな力や特技をもっていることが分かりました。普段から生徒や学級の問題などの解決にその能力を使っていることと思います。そのような個人の能力に先生方のいろいろな能力を合わせれば、チームとして大きな力となり、問題の解決だけでなく生徒の能力の伸長にもつながっていきます。チームで事例研究をする意義は、3つあります。 ・生徒のために →みんなで知恵を出し合うことで、生徒理解が深められ、確かな理解を進めることができます。 ・教職員自身のために→自分とは違った視点(立場や経験)から、生徒を理解したり、生徒への関わり方について学んだりすることができるため、自分の資質向上につながります。 →明確な役割分担をすることで、個人の負担の軽減につながります。</p> <p>4 [説明] 事例研究の進め方です。 4 [説明] 準備物は、記録用紙3種類(情報提供用、個人研究用、グループ研究用)、付箋紙、マーカー、タイマーです。</p> <p>5 [説明] 事例研究の流れは、事例提示、情報提供、個人研究、グループ研究、全体報告、役割分担です。事例提示は、事例の全体像をつかみ、目指す姿を確認する段階です。情報提供では、全員で対象の生徒について知っていることを出し合います。個人研究では、集まった情報を基にそれぞれが支援策を考えます。グループ研究では、個人で考えた支援策をグループでまとめていきます。全体報告と役割分担では、グループで優先順位をつけた支援策を発表し、支援の役割分担をします。詳細は、演習の時に説明します。</p> <p>6 [説明] 留意点は、参加者は事例提供者を支える姿勢で臨み、事例提供者の立場になって考えることです。そして、最も大切なことは実施可能な具体策を考えることです。また、秘密の保持には十分に気を付け、事例研究会で使用した事例や資料を回収して、適切に処分することも大切です。</p>	<p>【テキスト資料】</p> <p>*事例の対象の生徒は、1名に絞っても数名でもよい。 *タイマーは、進行者の時間の管理のために使用する。 *記録用紙(情報収集用、グループ研究用)、マーカー(2～3色)はグループ数分、記録用紙(個人研究用)は参加者数分準備する。 *付箋紙は情報提供用(大きめのもの一人5枚)と個人研究用(一人3枚)準備する。</p>
II 演習	<p>4 演習 (1) 事例提示と情報提供 ①事例提供者が事例を提示する ②事例提供者が願いを発表する ③全員が対象生徒について情報を提供する (2) 個人研究 ①対象生徒に関する情報を確認する ②更に訊きたいことについて情報提供者にたずねる ③支援策を考え、付箋紙に記入する (3) グループ研究 ①記録用紙に付箋紙を貼り付けながら、支援策を発表する ②発表された支援策に優先順位をつける (4) 全体報告と役割分担 ①グループで優先順位をつけた支援策を発表する ②支援の役割分担と確認を行う ③事例提供者から感想を発表する</p>	70	<p>7 (指示) これから事例研究を行います。(演習進行案を参照)</p> <p>11</p>   <p>(指示) 事例研究お疲れ様でした。</p>	<p>【演習進行案・演習資料】 *演習の際は、指示を明確にする。</p>
III まとめ	<p>◎活動の振り返り</p> <p>◎進行者のまとめ チームでの事例研究 →生徒の確かな理解 →自分の資質向上 →個人の負担の軽減</p>	5	<p>12 [説明] 事例研究はいかがだったでしょうか。 (指示) 今日のまとめです。テキスト1ページのまとめの()に今日のキーワードを入れて確認してください。(1分程度時間を取る)</p> <p>13 [説明] チームで事例研究をすることで、いろいろな視点からの情報が収集できるので、生徒の確かな理解へとつながります。また、他の人の関わり方や考えを学ぶことができるので、自分自身の資質向上にもなります。さらに、明確な役割分担をすることで、個人の負担の軽減になります。一人の頑張りには限界も危険もあります。今回の研修のようにチームで生徒の支援ができるような教師集団であることが大切です。これからも、生徒のため自分たちのためにチームで事例研究に取り組んでいきましょう。</p> <p>14 (指示) グループ研究用記録用紙は、事例提供者の方がお持ちになり、他の支援策も参考になさってください。(称賛) 今日は、先生方の熱心な取り組みがたいへん印象に残りました。ありがとうございました。</p>	<p>【テキスト資料】 *テキストを基にまとめを丁寧に行っていく。</p>

チームでの支援を目指した事例研究

1 研修のねらい

- (1) いろいろな視点から情報を収集する大切さを理解する。
- (2) 事例研究を通して、生徒をチームで支援するための具体策を考える力を養う。

2 事例研究の意義

- (1) 生徒のために → みんなで知恵を出し合うことで生徒理解が深められ、**確かな理解を進めることができる。**
- (2) 教職員自身のために → 自分とは違った視点（立場や経験）から、生徒を理解したり、生徒への関わり方について学んだりすることができ、自分の**資質向上**につながる。
→ 明確な役割分担をすることで、個人の**負担の軽減**につながる。

3 事例研究の進め方

- (1) 準備物
〔P. 2 「事例研究の進め方」参照〕
- (2) 流れ
〔P. 2 「事例研究の進め方」参照〕
- (3) 留意点
 - 事例提供者を支える姿勢を持つ。
 - 実施可能な具体策を考える。
 - 秘密を保持する。

4 演習

- 演習資料を基に事例研究に取り組んでみましょう。

5 まとめ () に本日の研修のキーワードを入れてみましょう

- チームでの事例研究をすることで、生徒の () へつながる。
- 他の人の関わり方や考えを学ぶことができるので、自分自身の () にもなる。
- 明確な役割分担をすることで、個人の () になる。
- そのため、生徒のため自分たちのためにチームで事例研究に取り組むことが有効である。

「事例研究の進め方」

活動項目	時間	全体・グループ・個人の活動	留意点
○ 事例研究のねらいの説明		<p>○ 進行者等が準備物を配付し、事例研究のねらいを説明する。</p> <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> 事例研究を通して、生徒をチームで支援するための具体策を考える力を養う。 <p><準備></p> <ul style="list-style-type: none"> 記録用紙（情報提供用・個人研究用・グループ研究用） 付箋紙（情報提供用、大きめのもの一人5枚） （個人研究用一人3枚） マーカー（2～3色をグループ数分） タイマー（進行者用） 筆記用具（各自） 	<p>○ 時間配分、グループ人数等は、研修時間・人数に応じて工夫し、設定する。</p> <p>○ あらかじめグループ研究の際のグループは編成しておく。</p>
① 事例提示と情報提供	20分	<p>○ 事例提供者が事例と目指す生徒の姿を発表する。</p> <p>○ 参加者が知っていることを付箋紙（情報提供用）に書いて、記録用紙（情報提供用）に貼る。付箋紙には自分の名前を書く。</p> <p><情報の内容例></p> <ul style="list-style-type: none"> 行動に関すること 家庭環境、家族に関すること 出欠状況、健康状態に関すること 学校生活、友人関係に関すること 学力、能力に関すること 性格や特性に関すること 本人の言葉や気持ち（心境）に関すること など 	<p>○ 目指す生徒の姿は、事例提供者があらかじめ情報提供用記録用紙に記入しておく。</p> <p>○ 該当者は成績やテストの結果出欠状況など事前に確認が必要な内容は調べておく。</p>
② 個人研究	15分	<p>○ グループに分かれて、記録用紙（情報提供用）の情報に目を通し、質問があれば記入者に聞く。</p> <p>○ 個人毎に支援策を考え、付箋紙（個人研究用）に書く。書いた付箋紙は、記録用紙（個人研究用）に貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> いつ どこで 誰が いつまで どんなことを 	<p>○ 事例提供者の立場に立って、問題点や指導援助の方向性・具体的な対応策を考える。</p>
③ グループ研究	25分	<p>○ グループ内で順番に、個人で考えた支援策を発表しながら付箋紙を記録用紙（グループ研究用）に貼る。似た内容はまとめて貼るなど工夫する。</p> <p>○ 全部の案が出たら、グループで話し合っ、マーカーで書き込みながら1から3番まで順位をつける。</p>	<p>○ あらかじめ、グループ内の進行者、記録係を決めておく。</p>
④ 全体報告と役割分担・まとめ	10分	<p>○ 各グループで順位付けした支援策を発表する。</p> <p>○ 支援の役割分担と確認を行う。</p> <p>○ 事例提供者が本日の事例研究に対する感想等を述べ、振り返りを行う。</p>	<p>例) 進行者（教育相談係） 記録係（学年主任）</p>

記録用紙 (情報提供用)

行 動	学校生活、友人関係
出欠状況、健康状態	家庭環境、家族
学 力、能 力	性 格、特 性
本人の言葉や気持ち	その他

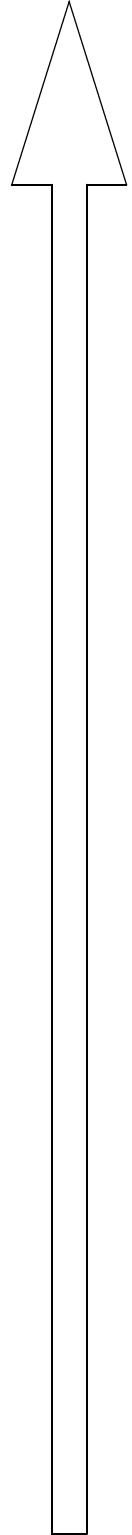
記録用紙（個人研究用）

目指す生徒の姿		
〈自分ができること〉	〈他の人をお願いしたいこと〉	

記録用紙 (グループ研究用)

目指す生徒の姿

取り組みやすい (容易)



取り組みにくい (困難)

「事例研究をしよう」

〈準備物〉

- ・記録用紙 3 種類→情報提供用（グループ数分）・・・模造紙または A 3 サイズに印刷
→個人研究用（参加者数分）・・・A 4 サイズに印刷
→グループ研究用（グループ数分）・・・模造紙または A 3 サイズに印刷
- ・付箋紙→情報提供用（大きめのものを一人 5 枚）
→個人研究用（一人 3 枚）
※ 予備用も準備しておく
- ・マーカー（2～3 色をグループ数分）
- ・タイマー（進行者用）
- ・筆記用具（各自）

演習のねらいの説明

- ・「これから事例研究をします。テキスト資料 2 ページの『事例研究の進め方』をご覧ください」
- ・「この演習では、生徒を理解するために、いろいろな視点から情報を収集し、チーム全員で具体的な対応策を考えていきます」



事例提示（10分）

- ・「それでは、事例研究を行います。今回は、事例研究の対象生徒を各学年から 1 名ずつ選んでいただきました。まず、事例提供者より事例と目指す生徒の姿を簡潔に発表していただきます。お一人 2 分です。では、順番にお話してください」

〈事例提供者が発表すること〉←事前に考えておいてもらう

- 事例・・・学年学級、氏名、困っていること（先生が？本人が？保護者が？）
- 目指す姿・・・（数ヶ月後には）今よりちょっとでもできるようになってほしいこと
×病気や先天的なもので治らないこと ×高度すぎること
×学校ではできないこと ×本人が望んでいないこと

- ・「今の発表に関して、事例提供者に質問はありますか」（3 分程度のみ質問を受ける）



情報提供（10分）

- ・「各学年 1 名ずつ、計 3 名の対象生徒について知っている情報を付箋紙に書いてください。書く内容は、テキスト資料の 2 ページ〈情報の内容例〉にありますように、行動に関する事、家庭環境や保護者、兄弟に関する事、学校生活、友人関係に関する事、出欠状況や健康状態に関する事、学力や能力に関する事、性格や特性に関する事、本人の言葉や気持ちに関する事などです。様々な面から知っていること、気づいていることを書いてください。どの生徒についても構いませんので、情報をできるだけたくさんお願いします。どの生徒もマイナスの面だけでなく、少しでもできていることや、よい面もあると思いますので、プラスの面についても、ぜひお書きください。付箋紙にはご自分の名前もお書きください。記入が終わったら、前に貼ってある記録用紙（情報提供用）のあてはまる欄に付箋紙を貼ってください」
- ・「質問はありませんか。それでは、時間は 10 分間です」（終了 2 分前になったら）
- ・「あと 2 分で終わりになりますので、記入した付箋紙を前の記録用紙に貼ってください」



個人研究（15分）

- ・「グループに分かれてください」（あらかじめ指定しておいたグループに分かれてもらう）
- ・「記録用紙（情報提供用）をグループの机に持ってきて、情報に目を通してください。さらに聞きたいことがあれば、記入者のところに行って聞いてきて構いません」（5分経過したら）
- ・「個人研究を始める前に、もう一度事例提供者より目指す生徒の姿を話していただきます。私たちの支援で実現可能かどうかをグループで確認していただき、可能であれば記録用紙（個人研究用）の目指す生徒の姿の欄に記入してください。もし、私たちの支援では実現が不可能なこと（疾病的なことや家庭の問題等）であれば、可能な範囲に修正し記入してください」
- ・「それでは、個人研究を始めます。個人毎にどのような支援策があるか考えて付箋紙に記入してください。実際にはよく知らない生徒についても、過去の経験から考えてみてください。また、支援する人が一人に偏らないように、まず、自分ができていることを考えてください。そのあと、他の人をお願いした方がいいことについても考えてください。いつ、どこで、誰が、いつまで、どんなことをするか、（例えば、授業の時に毎回、教室で、英語担当のA先生が、夏休み前まで、本人の頑張っている部分を見つけ褒める等）できるだけ具体的に書いてください。時間は、10分間です」



グループ研究（25分）

- ・「次に、グループ研究を始めます」（あらかじめグループ研究進行者と記録者を決めておくとよい）
- ・「記録用紙（グループ研究用）に、目指す生徒の姿を記入してください」
- ・「個人で考えたことを一つずつ順番に記録用紙（グループ研究用）に貼りながら発表してください。似た内容はまとめて貼るなど工夫してください」
- ・「考えたことが全部出るまで順番に発表を続けます。発表が終わったら、グループで話し合い、取り組みやすい順番に並べてください。あとで上位三つを全体に発表してもらいます」
- ・「時間は20分間です。それでは、グループ研究の進行者の方、よろしくをお願いします」
※ 全体の進行者は、各グループを回って称賛しながら、具体的な案になるように声かけをする。



全体発表・役割分担（10分）

- ・「各グループで話し合った上位三つの支援策を記録者の方に発表してもらいます。まず初めに○学年からお願いします」（発表のあと）
- ☆ {
 - ・「今回出た支援策について確認します。学年でできるものについては、□□と△△です。～という点では○○先生にご協力いただきたいということですがいかがでしょうか」（了承してもらえたら、お願いします。してもらえない場合は、学年で、次の案について考えてもらうようにする）
- ・「それでは、次に○学年お願いします」☆繰り返し
- ・「最後に、○学年お願いします」☆繰り返し
- ・「よろしくをお願いします。それでは、みなさんと協力して支援していきましょう」
- ・「最後に事例提供者から感想を話していただきます。お願いします」

〈引用・参考文献一覧〉

◇ 図解 生徒指導

嶋崎政男著
(2003年 学事出版)

◇ 校内研修実践資料 (小学校版)

福島県教育センター教育相談チーム
(2012年)